

# 環境配慮型物流・包装の推進

製造段階だけでなく、製品を輸送する物流段階においても環境負荷削減に取り組んでいます。輸送の効率化でCO<sub>2</sub>を削減するとともに、包装材を削減して廃棄物を減らしています。

## 物流における環境負荷低減

### モーダルシフト、共同配送から新たな方策へ

ムラタでは、毎年目標を設定して物流のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。2008年度は、①関西と北陸エリアの物流網再編による総走行距離の削減、②トラック乗務員に燃費向上や安全運転を働きかけるEMS用機器(Eco-drive Management System)の導入、③エネルギー効率の高いハイブリッド車の導入などを推進する計画でした。EMS用機器・ハイブリッド車は導入を完了し、物流網の再編については現在計

画中です。2008年度は国内の物流CO<sub>2</sub>排出量を実質生産高原単位で2000年度比36%以上の削減目標に対し、29%削減に留まりました。これは下期の急激な荷量減少のためであり、総量では削減できたものの原単位目標は達成することができませんでした。2009年度は、トラックの積載量をリアルタイムに把握できるシステムを導入・活用することで、トラックの平均積載率を向上し、さらなる物流CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組みます。



トラック積載

トラック輸送から、CO<sub>2</sub>排出量の比較的少ない鉄道・海運利用へと転換するモーダルシフトについて継続して検討しています。

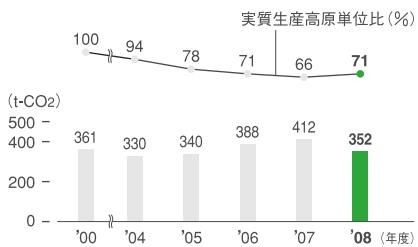


EMS用機器



ハイブリッドトラック

## ■ 物流時のCO<sub>2</sub>排出削減量



## 包装材料の削減

従来から技術革新による製品の小型化により包装材料の削減を推進してきましたが、さらなる取り組みとして段ボール使用量の削減を目的とした「外装箱の通い箱化」を推進しています。2006年度に国内拠点間の製品運搬用に導入して以来、2007年度はお客様向けにも導入を開始し、以降は順次その適用範囲を拡大しています。

す。これらの活動の結果、2008年度の包装材料は主要製品の国内テーピング数量原単位で2000年度比45%以上の削減目標に対し、49%を達成しました。今後は「通い箱化」と並行して「簡易梱包化」にも取り組むことで、より一層の包装材料の削減を推進していく予定です。

## ■ 外装箱の通い箱



## ■ 包装材料の削減

